



私の3冊

若林秀隆

後輩に薦める 2冊

藤島一郎，谷口 洋（著）

脳卒中の摂食嚥下障害 第3版 医歯薬出版，2017年発行

リハビリテーション科医師には，摂食嚥下チームのリーダーであることが求められています。私は第2版を熟読して摂食嚥下リハビリテーションを学び，実践してきました。第3版はサルコペニアの摂食嚥下障害など，最新の知見までしっかりカバーされていて，質・量ともにきわめて充実しています。リハビリテーション科医師にこそお薦めの書籍です。最初から第3版で学習できる後輩がうらやましいです。

若林秀隆，荒木暁子，森みさ子（編）

サルコペニアを防ぐ！ 看護師によるリハビリテーション栄養

医学書院，2017年発行

看護師向けの書籍ですが，病院などで医原性サルコペニアを作っているのは主に医師と看護師ですので，医師にもお薦めです。リハビリテーション科医師が活動によるサルコペニア（廃用性筋萎縮）を作ることはありえませんが，不適切な栄養管理で栄養によるサルコペニア（飢餓）を作っていることはあります。リハビリテーション看護の学習にも有用です。病院の看護師と一緒にリハビリテーション科医師に読んでほしい1冊です。

自分の 1冊

松原茂樹（編）

臨床研究と論文作成のコツー読む・研究する・書く

東京医学社，2011年発行

臨床研究と論文執筆について私には最も学びの多い書籍で，今でも繰り返し読んでいます。この書籍を熟読して臨床研究のメンターがいれば，学会発表だけで終わらずに論文執筆まで行えるようになります。特に論文のstructure「どこに何を書くか」の決まりが秀逸です。これでどこに何を書けばよいか迷わなくなりました。症例報告の場合には，松原茂樹（著）『論文作成ABC—うまいケースレポート作成のコツ』（東京医学社，2014年発行）がお薦めです。

■わかばやし・ひでたか 医師 24年目 横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科

急性期，回復期，在宅，リハビリテーションセンターとさまざまなセッティングで仕事をしてきました。その中で，高齢化とともに摂食嚥下障害，サルコペニア，低栄養の方が急増していて，サルコペニアや低栄養が機能障害や活動制限の原因であることに気づきました。リハビリテーション栄養という領域を作り，臨床，教育，研究を通じてリハビリテーション栄養を世界に広めることが，自分のライフワークです。